

京都市の取組

病弱特別支援学校である桃陽総合支援学校のセンター的機能（地域支援）の一環として、同校の分教室が設置されている2つの小児がん拠点病院を中心に高校生支援を行っている。同校に**医教連携コーディネーター（下図）**を配置し、在籍校・病院・保護者等との連携体制の構築を図りながら相談・支援を実施してきた結果、ICT機器活用のノウハウの蓄積や在籍校の病弱教育に対する理解・啓発など取組が着実に進んでいる。

令和3年度の取組

①遠隔教育を実施するために有効な関係機関の連携体制の構築に向けた取組

・小児科以外の病棟や桃陽総合支援学校の分教室を設置していない病院の入院状況の調査等を実施

②遠隔教育における学習状況の確認方法及び評価についての検証

・遠隔教育実施校からの課題の聴き取り等を実施

③通信環境

・無線環境が整わない環境での授業配信について高校への聴き取り等を実施

④授業配信機材

・遠隔教育に使用する機材の工夫等を実施

⑤心理的支援につながる配信授業内容の検証

・心理的支援につながる授業の配信方法についての検証等を実施

「医教連携コーディネーター」によるコーディネート

